

## 概要報告書

2019 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	特定非営利活動法人 全国不登校新聞社
事業名	不登校・いじめの専門紙『不登校新聞』の発行と無償送付事業
<p>現在、不登校の小・中・高校生数は全国で 19 万人を越えています。私たちは、不登校の子どもでも未来に希望をもって生きられるよう、そして、不登校の子を持つ親に参考となる情報を届けるべく『不登校新聞』の発行を続けています。</p> <p>『不登校新聞』の特徴は「当事者からの情報発信」ということです。親や教師、医師などの声は社会にたくさんありますが、不登校当事者が自身の不登校経験を語る、という機会はそうはありません。私たちは不登校当事者の生の声を社会に届け、それによって不登校の苦しみが少しでも和らぐ世の中になればと思っています。</p> <p>「当事者からの情報発信」を進めるために、私たちは不登校の当事者・経験者からなる「子ども若者編集部」を組織し、月に一回、編集会議を持ち、企画を出し合い、紙面化を進めています。本助成でいただいた資金の一部をこの「子ども若者編集部」の活動資金とさせていただきます。</p> <p>そのほか、全国の公共施設に新聞を無償送付することにより、情報にアクセスしづらい地域でも、『不登校新聞』を読める機会を増やすなどの事業も行いました。</p> <p>これからも、不登校の子どもとその保護者が苦しまず、希望を持って生きていけるよう、情報発信を続けたいと思います。</p>	
	
「子ども若者編集部 活動のようす」	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。